作成日:2015年12月25日
改訂日:2020年7月1日

# 安全データシート

## 1. 化学物質等及び会社情報

| | | |
|---|---|---|
| 製品名 | : | ホルス SAMe-10 |
| 会社名 | : | 株式会社 ホルス |
| 住所 | : | 東京都中野区中野3-3-5 |
| 電話番号 | : | 03-5328-9331 |
| FAX番号 | : | 03-6735-8950 |

## 2. 危険有害性の要約

GHS分類 : 全て「分類できない」、「分類対象外」、「区分外」のいずれかに該当する。

## 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の分類 : 単一製品

| 表示名称 | 化学名 | 含有量 |
|---|---|---|
| 酵母 | Yeast | 100.0% |

危険有害成分 : 情報なし

## 4. 応急措置

| | | |
|---|---|---|
| 吸入した場合 | : | 新鮮な空気の場所に移動させ安静にし、必要に応じて医師の診断を受ける。 |
| 皮膚に付着した場合 | : | 触れた部位を水及び石鹸で洗い流す。症状が出た場合は、必要に応じて医師の診断を受ける。 |
| 眼に入った場合 | : | 清浄な水で洗眼した後、医師の診断を受ける。コンタクトレンズは可能であれば取り除いて洗眼する。 |
| 飲み込んだ場合 | : | 水で口の中を洗浄する。直ちに医師の診断を受ける。 |

## 5. 火災時の措置

| | | |
|---|---|---|
| 消火剤 | : | 初期火災には、水・二酸化炭素・粉末などを用いる。<br>大規模火災には、粉末泡抹消火剤を用いて空気を遮断する。 |
| 使ってはならない消火剤 | : | 情報なし |
| 特有の危険有害性 | : | 情報なし |
| 特有の消火方法 | : | 火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。消火作業は保護具を着用し、可能な限り風上から行う。 |
| 消火を行う者の保護 | : | 消火作業では、適切な保護具(手袋、保護眼鏡、マスク)を着用する。 |

## 6. 漏出時の措置

| | | |
|---|---|---|
| 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 | : | 作業の際には必ず保護具を着用し、風下で作業しない。 |
| 環境に対する注意事項 | : | 流出した製品が河川などに排出され、環境への影響を起こさないように注意する。 |
| 回収、中和などや封じ込め及び浄化の方法・機材 | : | 少量の場合、吸着剤(おがくず・土・砂・ウエス等)で吸着させ取り除いた後、残りを雑巾などでよくふき取る。多量の場合、毛布、土嚢などでその流れを止め、安全な場所に導いてから容器に回収する。 |

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

| | | |
|---|---|---|
| 技術的対策 | : | 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。 |
| 局所排気・全体排気 | : | 局所排気装置を設置した場所で行う。 |
| 注意事項 | : | 開封後は、使い切ることが望ましい。 |
| 安全取扱い注意事項 | : | 作業場の換気を行い、取り扱い後は手洗い、うがいをする。 |

保管

| | | |
|---|---|---|
| 技術的対策 | : | 情報なし |
| 混合接触禁止物質 | : | 情報なし |
| 適切な保管条件 | : | 高温・多湿を避け、冷暗所に保管する。(冷蔵庫推奨)再保管する際は微生物汚染に注意する。 |
| 安全な容器・包装材料 | : | 製品使用容器に準ずる。 |

## 8. 暴露防止及び保護措置

| | | |
|---|---|---|
| 管理濃度 | : | 設定されていない。 |
| 許容濃度 | | |
| 日本産業衛生学会 | : | 設定されていない。 |
| ACGIH | : | 設定されていない。 |
| 設備対策 | : | 局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くに洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。 |

保護具

| | | |
|---|---|---|
| 呼吸器の保護具 | : | マスク |
| 手の保護具 | : | 保護手袋 |
| 眼の保護具 | : | 保護眼鏡(普通眼鏡型、ゴーグル型) |
| 皮膚及び身体の保護具 | : | 長袖作業衣、安全靴 |

## 9. 物理的及び化学的性質

| | | |
|---|---|---|
| 外観(物理的状態、形状、色など) | : | 淡褐色～褐色の粉末 |
| におい | : | 固有な香味がある |
| 沸点 | : | データなし |
| 融点 | : | データなし |
| 初留点及び沸騰範囲 | : | データなし |
| 引火点 | : | データなし |
| 自然発火温度 | : | データなし |
| 燃焼又は爆発範囲 | : | データなし |
| 蒸気圧 | : | データなし |
| 比重(相対密度) | : | データなし |
| 溶解度 | : | 水に難溶 |

## 10. 安定性及び反応性

| | | |
|---|---|---|
| 安定性 | : | 通常の取扱い条件においては、安定である。 |
| 危険有害反応可能性 | : | 通常の使用条件では特にない。 |
| 避けるべき条件(静電放電、衝撃、振動など) | : | 高温多湿、極端に低温な環境 |
| 混触危険物質 | : | 情報なし |
| 危険有害な分解生成物 | : | 情報なし |

## 11.有害性情報

| | | |
|---|---|---|
| 急性毒性 | : | データなし |
| 皮膚腐食性及び皮膚刺激性 | : | データなし |
| 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 | : | データなし |
| 呼吸器感作性又は皮膚感作性 | : | データなし |
| 生殖細胞変異原性 | : | データなし |
| 発がん性 | : | データなし |
| 生殖毒性 | : | データなし |
| 特定標的臓器毒性(単回曝露) | : | データなし |
| 特定標的臓器毒性(反復暴露) | : | データなし |
| 吸引性呼吸器有害性 | : | データなし |

## 12. 環境影響情報

| | | |
|---|---|---|
| 生態毒性 | : | データなし |
| 残留性・分解性 | : | データなし |
| 生体蓄積性 | : | データなし |
| 土壌中の移動性 | : | データなし |
| オゾン層有害性 | : | データなし |

## 13. 廃棄上の注意

| | | |
|---|---|---|
| 廃棄方法 | : | 廃棄する場合、廃棄物処理法及び関係法規・法令を遵守し、適正に処理する。 |
| 容器・包装の処理方法 | : | 空の容器・包装を廃棄する場合、内容物を除去した後に、廃棄物処理法及び関係法規・法令に遵守して、適正に処理する。 |

## 14. 輸送上の注意

| | | |
|---|---|---|
| 国内法規則 | | |
| 陸上輸送 | : | 該当しない |
| 海上輸送 | : | 該当しない |
| 航空輸送 | : | 該当しない |
| 国際法規則 | | |
| 海上輸送 | : | 該当しない |
| 航空輸送 | : | 該当しない |

## 15. 適用法令

| | | |
|---|---|---|
| 消防法 | : | 該当しない |
| 労働安全衛生法 | : | 該当しない |

## 16. その他の情報

| | | |
|---|---|---|
| 引用文献 | : | GHS分類結果データベース nite(独立行政法人 製品評価技術基盤機構) HP |

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、物理化学的性質、危険・有害性に関しては、いかなる保証をなすものではありません。
また、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものですので、特殊な取扱いの場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。